

# 精密測定機器、座標測定機セミナー

**日程** 10月7日(木)  
**時間** 10:00 - 17:00  
**会場** 東京ビッグサイト会議棟6階 605,606会議室  
**主催** 日本精密測定機器工業会  
**聴講料** 無料 (会員はテキスト代も無料。会員以外はテキスト代をご負担下さい)  
**定員** 会議室での聴講150名  
Zoomウェビナー参加100名

**お申込方法** 日本精密測定機器工業会HPから受講申込書をダウンロードして頂き、必要事項をご記入後、事務局までメールに添付の上お申し込みください。  
<https://www.jpma.gr.jp/information/>  
※お申込み多数の場合は途中で募集を打ち切ることがあります。

**お問い合わせ先** 日本精密測定機器工業会「セミナー」事務局  
〒105-0003 東京都港区西新橋3-14-2  
TEL. 03-3434-9557 FAX. 03-3434-1695  
E-mail. info@jpma.gr.jp

## プログラム

※内容は予告なく変更される場合があります。  
最新情報は、当展示会HP ([www.mt-expo.jp](http://www.mt-expo.jp)) をご確認ください。

10:00-11:00	<b>自動車の電動化に伴う製造業への影響と車両生産に於ける技術課題</b> 慶應義塾大学 工学部 システムデザイン工学科 教授 青山 英樹 氏 本講演では、環境問題に対応するため自動車の電動化が推進されてきている中で、それに伴う製造業への影響について考える。また、電動化自動車に限らず、自動車を開発するために解決すべき技術的課題を検討する。
11:00-11:55	<b>検査における合否判定の新基準</b> 東京電機大学 工学部 先端機械工学科 教授 古谷 涼秋 氏 新JIS B 0641-1には、ISO 14253-1の合否判定基準に加えて経済性を考慮した合否判定基準(ISO/TR 14253-6)が付属書JAに含まれる。これらの合否判定基準について講演する。
12:50-13:45	<b>幾何公差表示方式の最新ISO規格(ISO 1101:2017)の概要</b> 関東学院大学 工学部 理工学科 教授 金田 徹 氏 現在のJIS B 0021:1998は、ISO/DIS 1101:1996に対応しているが、最新のISO 1101は、150ページを超える内容で、上述のJISにはない新規項目が多く追加されている。また、ISO 1101:1983に対応したJIS B 0621:1984もある。この背景のもとで、現行のJISに含まれない項目の概要を紹介する。
13:45-14:40	<b>表面性状評価の最新規格動向 — 新たな表面性状規格群の解説 —</b> 岩手大学 工学部 システム創成工学科 准教授 内館 道正 氏 表面粗さなどの表面性状を図示・評価するための新たな規格群が間もなくISO 21920シリーズとして発行され、関連するフィルタ処理等の規格も変更となる。新たな図示記号、パラメータ、評価手順などを解説する。
14:50-15:10	<b>CMM都市伝説：測定結果のソフトウェア依存性について</b> 山梨県産業技術センター 甲府技術支援センター 機械技術部 主幹研究員 石黒 輝雄 氏 「自社と納品先のCMMで幾何公差の値が違う」こんな経験や相談を受けたことはないでしょうか。所有機器の幾何公差とISOに準じた幾何公差算出方法について理解しておくことの重要性について講演する。
15:10-15:30	<b>CMM都市伝説：偏荷重が測定値に及ぼす影響</b> 熊本県産業技術センター ものづくり室 研究参事 川村 浩二 氏 本研究では、三次元測定機(Coordinate Measuring Machine)の定盤上に600kgの重りを載せて、配置を変えながら偏荷重を与えた際の測定値に及ぼす影響を検証した。
15:30-15:50	<b>CMM都市伝説：非接触三次元測定機におけるワーク設置位置の影響</b> 名古屋工業研究所 システム技術部 生産システム研究室 研究員 岩間 由希 氏 3Dデジタルなどの非接触三次元測定機は短時間で広範囲のデータを取得できる利点があるが、測定エリア内でのワーク設置位置が異なっても得られる結果は同一として扱えるのか、検証を実施した。
16:00-16:20	<b>CMM都市伝説：ロータリーテーブルを用いたスキャニング測定の精度について</b> 栃木県産業技術センター 機械電子技術部 生産システム研究室 主任研究員 石川 信幸 氏 ロータリーテーブルとスキャニングプローブを用いた同期測定において、測定速度と基準変位が輪郭測定結果に与える影響について検証を行った。
16:20-16:40	<b>デジタルインジケータゲージ JIS B 7563の解説</b> 株式会社ミツトヨ 中津川工場商品設計課 課長 足立 浩一 氏 デジタルインジケータゲージはあらゆる分野で広範囲に使用される測定器である。新たにJIS規格が2021年1月20日に公布された。本説明会では標準化背景や規格概要を解説する。
16:40-17:00	<b>ノギスISOの変更から見えるJIS改正について</b> 株式会社ミツトヨ 宇都宮事業所測器工場品質管理課 課長 篠原 利行 氏 ノギスのISO規格が2019年に改正された。特に計測特性に具体的な内容が記載され、JIS規格として国際規格に整合させた改正が必要となる。

セミナーのお申込は当工業会ホームページ <https://www.jpma.gr.jp/information/>

より申込書をダウンロード頂き、必要事項をご記入の上メール([info@jpma.gr.jp](mailto:info@jpma.gr.jp))でお申し込み下さい。

日本精密測定機器工業会